

2021.2.13-14希望創発研究会（2月例会・オンライン）を実施

ホーム > 希望創発研究会 > 例会実施報告

希望創発研究会

教育研究システム

研究テーマ

研究会スケジュール

例会実施報告

参画メンバー

参画メンバー募集について

2021.2.13-14希望創発研究会（2月例会・オンライン）を実施

公開日 2021年2月24日



2月13日（土）-14（日）、希望創発研究会（2月例会・オンライン）を実施し、企業人18名、学生15名、その他関係者30名の計63名が参加しました。

1日目

基礎セミナー「思考と論述のトレーニング」

講師：東北大学 佐藤 智子氏（希望創発センター 客員教員）

希望創発センターでは、年度最後に個人論述書を作成することになっています。アカデミック・ライティングとは何か、なぜ重要なのかを学んだ後、サンプルレポートを基に、客観的なレポートとはどういうものかを小グループで話し合いました。

午後は各チームがブレイクアウトルームに分かれてチーム対話を行いました。



2日目

1日目から引き続き、チーム対話を行いました。今年度最後となるじっくりと対話ができる時間。これまでオンラインで交わってきたチームメンバーの想いをくみ取り、現場の声等集めた情報を基に、最後の報告会に向けて議論を重ねていきました。最終報告会まであと1ヶ月、ラストスパートに入っていきます。

<参加者の声>

- ・今まで議論してきたことでも、調査や話し合いをさらに進めると認識が少しずれていたのかも？と気づけた。言葉の定義は大事だと思う。自分1人でも考え・認識が変わる事があるし、他メンバーとなるとそもそも理解が違っていたりするからだ。
- ・皿鉢は小学生が嫌いなものが多い、健康的ではないというイメージがありその観点でヒアリングをしたが、皿鉢は細かいルールはないこと、また小学生もストーリーがあれば（実際に作ってみる、話を聞く、見る）嫌いなものも食べることがわかった。
- ・これまでは意見を羅列していくが多かった中、カテゴライズすることや見やすさに重きを置いた結果、話し合いが活発に進んだように感じた。
- ・自分らしく生きると表現してきた我々の希望は「幸せ」を表現していたことの気づきがあった。

[トップページへ戻る▶](#)

希望創発センター

Center of Education and Research for Hope-Emergence

〒780-8520 高知県高知市曙町2-5-1
国立大学法人 高知大学 学務課
学習・研究サポート係（希望創発センター）
TEL:088-844-8440